

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		プラス・ワン各務原		公表日		令和 8年 1月 29日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		こどもの人数に対し、法令を遵守した人員を配置しています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		配慮が必要な児童にたいしては、1階を利用することで、バリアフリーでの生活が可能となっている	2階への移動手段が階段のみのため、完全なバリアフリーではない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃を実施し、定期的な換気も心掛けています		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋があり静養室としても利用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員間で定期的な会議の実施しています。会議外でも話し合いの場を設けたりと日々の振り返りができる職場環境を心掛けています。保護者向け評価も毎年、会議で検討しております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は実施しておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職場内研修の実施、職場外研修を受けた職員による報告(研修)を実施		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPに好評しております		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		個々のこどもに対して（主にモニタリング対象児）、毎月の会議の議題に挙げアセスメントをしております。保護者とのモニタリング実施後、個別支援計画書作成案時に職員で話し合い、計画書を作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画書は職員共有し、確認したうえで支援を行っております		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		独自のアセスメントツールを使用しています。今後は、他所の書式を参考にしながらよりよいツールを検討していきます	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		具体的な支援内容を記載し、支援計画に設定しております		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員会議内で活動プログラムの立案を行っています 毎日様々な療育活動を取り組めるよう配慮しております	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		主に集団活動で行っているが、こどもの個々の状況を踏まえ、個別対応が必要な場合はサポートをしています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前の日や当日に療育活動の周知、ねらいや注意点を共有し、役割分担を決めて実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		職員の退社時間が異なるため、翌日の出勤時に話し合いや打ち合わせを実施しています。 休みを取っている職員は議事録やLINE報告で周知できるようにしています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		業務日報に毎日記録しています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に1回、保護者とモニタリングを行い、適宜見直しを実施しています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「自立支援活動」「生活能力向上活動」「創作・表現活動」は療育活動に組み込んで取り組んでいます。地域交流の機会がなく、課題はあります。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動でも、こども達の意見を聞き、希望や思いを反映させて活動したりと工夫をしています		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		招集された際には、当施設の児童発達支援管理責任者が参加しております	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校との情報共有は適宜行っております	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		行事予定や下校時刻は主に保護者の方と情報共有をしています。場合によって、直接学校に確認を取ることもあります。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		連絡が取れる準備はしておりますが、実施しておりません。保護者からの聞き取りや書面での記録をもとに、把握しております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		現在までに該当児童がおりません。 今後のために、準備を整えておきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修に参加する機会があれば参加しております	個別でのスーパーバイズを受ける機会はないですが、同一事業所に相談支援事業所があるため、適宜助言を受けていきます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		児童館の利用はあるものの、こどもとの活動や交流の場は設けられていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		機会があれば参加したいと考えています
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		利用時に記載している連絡帳や送迎時に保護者対面した際や、メールでも営業時間内は随時連絡が取れるように配慮しております。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		個人的に困り感や悩みがある際に、助言を行う等の相談に応じています	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にすべて説明させていただいております。 運営規程や支援プログラムは掲示をしており、閲覧できる環境にしております	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		こどもの意見は利用時に聞き取りをしています。 保護者へは、モニタリング時や相談等があった場合に個別でお話を伺っています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談時に保護者へ支援内容の説明を行い、同意を得たうえで署名をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者より相談を受けた場合は、即時対応できるようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		毎年1回の開催を実施しております。きょうだいご一緒の参加もできるため、交流のきっかけ作りになるといいます。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付者、解決責任者を選定しております。苦情があった場合は迅速かつ適切な対応をさせていただきます	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPでブログを掲載しております。SNSでも日々の活動を不定期ではありますが、毎月発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		施設のできる保管棚で個人情報を取り扱っております。職員へは契約書、保護者へは契約書、重要事項説明書に記載しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		現在、言語障がい児の利用はございません。発語が	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		行っておりません。実際に事業所行事に招待する等の事業所運営の参考になる事例があれば勉強させていただきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		療育活動で定期的な訓練の実施。マニュアルの作成、職員・保護者への周知(資料配布)をしております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		策定し、訓練も行っております	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に面談で直接伺うほか、モニタリングシートに記入いただいています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示書はありませんが、保護者と食事提供に関するアレルギー(除去)食申請書をかわし、契約書に基づき食事提供を実施しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づき、研修や訓練を実施しています。また、保護者がいつでも安全計画書を確認できるよう、玄関先に冊子を設置しております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		報告書への記入、職員間での情報共有を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会での会議を元に、事業所内でも年に1回の研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時、また個別支援計画書説明時に保護者から了承を得ております。施設内でも研修の実施し、理解を得ています。		